

平成26年度

教育委員会活動の点検及び評価報告書

平成27年11月

京丹後市教育委員会

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくために、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第二十六条の規定に基づき、平成26年度の教育委員会の点検及び評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

京丹後市教育委員会委員名簿（平成26年度末現在）

職名	氏名
委員長	小松慶三
同職務代理者	文珠清道
委員	森益美
委員	野木三司
委員（教育長）	米田敦弘

目次

○自己点検・評価について

○教育に関する学識経験者の意見

I 教育委員会の活動状況	P 1～6
1. 教育委員会の開催状況	
2. 教育委員会委員の主な活動	
II 施策評価調書	
子育て支援の総合的な推進 <子育て支援>	P 7～11
① 安心して生み育てられる環境の整備	
② 地域や社会で子育てを支える環境づくり	
未来を拓く学校教育の充実 <学校教育>	P 12～16
① 社会を生き抜く力の育成と確かな学力の向上	
② 子どもを健やかに育む教育環境の充実	
③ 豊かな人間性・社会性の育成	
④ 子どもの安全・安心の確保	
⑤ 生徒指導体制、教育相談の充実	
⑥ 家庭・地域の教育力の向上	
多様な学びを支援する社会教育の充実 <社会教育>	P 17～20
① 市民の学習と交流機会の充実	
② 市民の自主的な文化・スポーツ活動の促進	
③ 社会教育・社会体育施設の整備	
芸術・文化を活かしたまちづくりの推進 <芸術・文化>	P 21～23
① 文化的資源の保存と活用	
② 文化芸術に触れる機会の充実	
③ 文化・芸術活動への支援	
III 平成26年度決算附属資料等	
(別紙) 平成26年度決算附属資料	
学校評価自己評価	
京丹後市立幼稚園・学校評価自己評価報告一覧	
平成26年度決算附属資料	
学校評価自己評価	
京丹後市立幼稚園・学校評価自己評価報告一覧	

平成26年度の教育活動をふりかえって

平成26年度の教育行政は、平成25年度から着手していました教育振興計画の策定をとりまとめ、3月には冊子として印刷するとともに全戸へ概要版を配付することで、今後10年間の京丹後市の教育振興の基本方針をお示しさせていただきました。

また、京丹後市の最も大きな教育振興策であります小中一貫教育を、峰山中学校区、網野中学校区ではじめることができるなど、新たな教育の歴史が刻まれた年でもありました。

さらに、幼保一体施設として、峰山、弥栄及びかぶと山のこども園が開園し、各町域に幼稚園を設置できたことで、子育て支援、保育及び幼稚園教育の充実を図ることにつなげることができました。また、10ヶ所で開設した放課後児童クラブは年度当初に408人の登録があるなど、保護者の就労と子育て支援を推進してきました。

また、学校再配置計画により、間人中学校と宇川中学校の再配置により丹後中学校を、溝谷小学校、黒部小学校、鳥取小学校及び野間小学校の再配置により弥栄小学校を、佐濃小学校、海部小学校及び川上小学校の再配置により高龍小学校をそれぞれ開校し、小学校20校、中学校7校の体制で新たなスタートをした年でもありました。また、網野中学校と橘中学校の再配置の協議も進み、平成27年度の新生網野中学校の開設に向けた準備も進めました。

社会教育関係では、学校支援地域本部事業として、地域総ぐるみで学校を支える学校支援ボランティアが、新たに46人の新規登録者を得て、470人にまで拡大し、学校で行う授業や行事、登下校時の見守りなどを支えていただき

ました。また、受講者数の多い高齢者大学を一本化するとともに、成美大学の支援を得て大学院を開設することもできました。社会体育事業では、市民のスポーツ実施率向上のため、ノルディックウォーキングの普及に努めました。

文化財保護関係では、平成27年度に京都文化博物館で開催する「大丹後展」に向けた準備を進めてきたこと、学校跡地を活用した民俗資料、絵画の展示施設としての構想を打ち立てたこと、丹後と東海地方の文化・方言の関係調査を進め、「丹後・東海地方のことばと文化～兄弟のようなことばを持つ両地方～」を発刊しました。

このように、平成26年度は、本市における教育振興の基本となる「京丹後市教育振興計画」の策定、小中一貫教育の実践、新たに三つの「こども園」の開園、学校再配置、学校施設の耐震化、高齢者大学の一本化と大学院の開設、市民スポーツ実施率の向上のための取り組み等、本市の懸案となっている課題解消に向けてのさらなる取り組みを進めてきました。また、丹後と東海地方の文化・方言の関係調査とその保存活動は、本市と東海地方の交流事業の発展に資することができました。

今後も、本市教育振興計画で決めました、京丹後市が目指す教育「心豊かにたくましく 幸福な未来を切り拓く力を育む教育」、「ふるさとへの愛着と誇りを持ち 新しい価値を創りだす力を育む教育」を実践し、さまざまな教育活動を市民との協働の中で推進していきます。

平成27年11月

京丹後市教育委員会

教育に関する学識経験者の意見

- 1 外部評価者 職名 玉川大学教育学部 教授
氏名 寺本 潔
平成27年10月14日（評価を行った日）

2 序論

「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、すべての中学校区で小中一貫教育が積極的に推進されている。自治体の財政力が決して強くない中で関係者の努力と熱意に裏付けられた進展に敬意を表したい。年齢3区分別人口推移のグラフ（市『教育振興計画』による）を見れば、平成31年の高齢人口が35.3%、年少人口は10.9パーセントと落ち込むことが予想されている。だからといって、教育政策が後ろ向きになるのではなく、前向きな計画が立案・実行されている。重点施策である就学前の保育環境の充実や確かな学力、豊かな人間性・社会性の育み、歴史文化を活かした郷土への愛着形成、健やかな体づくり等は日本海に面した風土を持つ京丹後市では、なおさら強調されるべきテーマであろう。これらのテーマを課題とし、目標値を定めて不断の努力で取り組む市の姿を、送って頂いた様々な資料から感じた。施策評価・進捗管理調書や各事業、各学校の自己評価報告書面も、数年前と比較し大変、整理・統一され見やすくなっている。それらの改善も貴市の教育改革への努力の成果と受け止めている。以上の観点から外部評価委員として資料をもとに客観的な評価を試みるよう努めた。

3 本論

① 教育委員会議の開催状況等

毎月2回程度開催され、合計21回もの開催に至っている。特に2月の議題は多く、2回に亘って審議が丁寧に行われている。5月に議案で審議されている「いじめ防止等基本方針について」や10月報告の「平成26年度全国学力・学習状況調査の結果概要について」は重要であり、しっかりと審議がはかかれていると受け止められる。規則や要綱の一部改正や委員・人事の委嘱、辞任や報告事項は昨年と比べて精選されているように感じられた。解決すべき教育課題の発掘や審議の深まりを一層進展させるためにも、より本質的な課題に審議の時間を割くよう努力されることを望みたい。教育の質保証と市民の参画意識を高めるための方策や地域を活性化する方策、さらに、子どもの安全確保に関して11月に「Xバンドレーダー配備に伴う米軍人・軍属の犯罪・事件事故防止と、子どもの安全・安心確保についての申し入れ」があがっている点は特に評価したい。

② 学校再配置検討状況等

「教育と学びのまち 京丹後」をスローガンに機運を高め、着実に学校再配置基本計画として審議は練られている。平成16年4月の京丹後市発足以来、学校の再配置を決定し、再配置事業と実施方針が提示され、確実に着手されている。子育て支援のジャンルではあるが、幼保一体化施設（こども園）の新設は喜ばしい進展である。広域化する学区の中での「安全な通学支援」も重要であり、様々な点において工夫と選択を強いられるだろう。小規模校の長所・短所や学年ごとの適正な学級数、各種バスを活用した通学支援も明記されており、慎重に学校再配置計画が検討され、推進されていることが分かる。

③ 事務事業評価

事務事業に関しては、よく整理されており特に問題は見出せない。施策評価調書に関しては、

PLAN, DO, CHECK, ACT 方式による書式が統一され、詳細さが増している。『平成 26 年度教育委員会活動の点検及び評価報告書』における施策貢献度の項目も S もしくは A が多く見受けられ、大変喜ばしい。「事務事業の概要」欄にもしっかりと項目と経費が一覧され、各事業の効果や成果の透明性の確保と事業のより一層の改善が確かめられ喜ばしい。49 棟もの耐震化が必要と指摘されてきたが、耐震診断結果に基づき耐震化個別実施計画も立案され、中学校は 100% を達成している。また、重要な各統合保育所整備事業も着実に進められ昨年度と比べ改善されている。

④ 学校評価

「平成 26 年度学校評価自己評価報告（幼稚園・小学校・中学校）」を点検した。昨年度と比較し評価できる点は、「成果と課題（自己評価）」の欄の○印に関する記述が、具体的に記述されている点である。「具体的方策」の欄で記述した内容を「成果と課題（自己評価）」の欄でどのような具体的な取組で支えたのか、精神論に留まらないで中味が分かるように書かれている。数年前の書式の不統一からくる課題把握状況の格差は、今年度全くと言ってよいほど感じられない。少ない予算を切り詰めながらも教育の向上に向けて教職員全員で努力されている様子が伝わってくる。

⑤ その他学校教育活動

「9 年間を見通した教科指導のカリキュラムの作成」や「ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり（五箇小）」は注目すべき工夫である。小中一貫や学校種間の連携は本市のような人口減少市においては推進せざるを得ない。連携や協働を縮減と消極的に捉えるのではなく新しい価値の創造の好機と前向きに捉えたい。

⑤ 社会教育活動、文化財保護行政、社会体育等

学校支援ボランティアが 470 人に拡大してきた点は、市民参加の姿として大変望ましい。ノルディックウォーキングの普及も推進されているが、ツーリズムとの接点から里山を歩くフットパス整備と農村景観の観光資源化も検討されてはいかがであろうか。文化財セミナーや京丹後史博士講座参加者も 1880 人と順調に伸びており、歴史・文化は京丹後市の資源と改めて認識できる。これらの持てる資源を交流人口の増加にいかにつなげていけるか、例えば「道の駅」との連携も可能性がある。

4 総括

報告書類の書式が統一され、各種資料は見やすく整理されている。全体として前向きな印象を得た。今後ともこの方向を維持発展してほしい。『平成 26 年度版京丹後市の教育』に学校施設整備計画が一部掲載されているが、別紙で示されている耐震化計画や学校再配置基本計画、学校教育改革構想が数年前の資料のままであった。内容の変化がない場合はその旨を記載してほしい。

5 総合評価（意見等）

大部にわたる資料を拝見したが、教育委員会活動として適切な事業運営に努めていると評価できる。広域の市域にも関わらず、税金においては厳しい現状であるため、理想と現実のはざままで苦慮されている姿が推察される。「生涯スポーツの推進」は 2020 東京オリンピックが近づく今日、益々市民の関心を引き付けることだろう。特に介護予防の意味を意識した高齢者向けスポーツの施策を一層充実してほしい。小中一貫教育の展開が 26 年度から導入され、小中一貫校の共通指導事項の設定や、先導的なカリキュラムの開発など期待が持てる。

教育に関する学識経験者の意見

- 1 外部評価者 職名 立命館大学 非常勤講師
氏名 長野 光孝
平成27年10月23日（評価を行った日）

2 序論

国はこのほど地教行法の改正（平成27年4月1日施行）で教育委員会のあり方を変え、特に「総合教育会議」を新設し、教育行政について首長と教育委員との協議・調整を図ることとした。京丹後市においては、教育の中立性、継続性、安定性の観点がどの様に担保されるか、4月以降の取組に注目している。また、6月には小中一貫校を制度化する学校教育法の一部改正が成立（平成28年4月1日施行）した。本市では既に5年前から取組まれており何を今さらの感なきにしもあらずだが、国の学校制度の大改革が続行中である。教育界の動向を見据えながら、京丹後市政発足以来の大教育改革である学校再配置計画と新しい小中一貫教育の進捗状況が真に子ども、保護者・住民の願いに応えるものになっているか点検し、市民の生涯教育環境づくりがどの様に進展しているか、外部者として評価を行った。

3 本論

平成27年3月、市教育委員会は「京丹後市教育振興計画」を策定、その概要版を全戸配布した。教育基本法に基づき国・府の方針を踏まえて、今後10年間の教育理念・方針・計画体系を立て重点目標を数値化して市民に分かり易く提示している。行政は、この教育振興計画実現に向けて適切な進行管理を推進すると共に、必要な財源確保を講ずる責務があることを明らかにした。教育振興計画策定の意義は大である。

市教育委員会は、人口減少と少子・高齢化の進む中、学校再配置計画、学校耐震化、小中一貫教育、子育て支援等の所管事業を、計画立案・実践・点検・評価して循環型マネジメントサイクルで的確に総括しながら推進している。財政支出については重点的・効率的に配分して、経費節減に配慮していることが見える。

学校統廃合は全国各地で取り組まれ行政と地域の間で問題が多発している。京丹後市においては、「学校再配置計画」として年次計画で進め、平成26年度に再配置した弥栄小、高龍小、丹後中学校では「確かな学力と豊かな心」の育成を目指す小中一貫教育を開始した。峰山中学校区・網野中学校区の再配置に向けても、当該地域に出向いて学校やPTA、区長、住民等と話し合い、入念な準備が行われている。新しい学校施設設備、通学バス等の条件整備や跡地利活用等が地域のニーズや意見・要望を反映させながら的確に処理されており、行政と学校・地域間の齟齬は見られない。それは、教育長・事務局職員、校長・教職員の昼夜を分かたぬ努力と誠意を尽くした地域対応、条件整備・迅速な事務処理によって再配置が計画通りに進捗していることの何よりの証しである。

また、京丹後市子ども・子育て支援事業計画やいじめ防止等基本方針を定めて、地域と学校・

園との連携を一層進めて取り組み、生涯学習の環境づくりが進められている。喫緊の課題である米軍Xバンドレーダー配備に伴う事件事故防止と子どもの安全確保対策について、適時に対応して市民・保護者の懸念に応えている。

社会教育関係では、特に学校支援地域本部事業において、地域総ぐるみで学校園を支える取組が展開されている。「まずはできる支援を、できる時に、できる範囲で」様々な特技や技術を活かした学校ボランティアが、毎日の登下校安全指導や部活動、学習指導、読書活動支援等で学校と子どもの学びを支える活動を展開されている。(450人のボランティア登録者が、日々学校園地域で活動している。平成26年に46人の新規登録があり、活動が年々広がっている。)

高齢者教育では、一般教養コース、趣味・専門(大学)コースを設けて「長寿のまち・京丹後」に相応しい取組で参加者を増やし、高齢者のパワーを蘇生させ組織化している。

公民館・社会教育団体、スポーツクラブ等の組織が再編成され、活動が活性化して催しや行事の参加者が増えている。社会教育推進にあたって、地域公民館や各社会教育団体等の自治と自主・民主的な運営を進め、暮らしに息づく学びの輪を広げている。

文化財保護関係では、5月刊行の「丹後・東海地方方言等の調査事業」報告書に注目する。「兄弟のような言葉を持つ名古屋(尾張)と京丹後は、古代から深い文化交流があった」という歴史ロマンが明らかされ、シンポジウムの開催等、京都縦貫自動車道全線開通を契機にして新たな文化交流の広がりが見られる。平成27年度、京都文化博物館で開催される「大丹後展」で京丹後市の産業、歴史、教育、文化、伝承、民俗、祭り等が公開される。自動車道全線開通を追い風にした近畿・中京圏文化との交流、「海の京都」丹後文化の大イベントになるよう各公民館・社会教育団体、地域団体との協働で取り組まれることを期待する。

学校自己評価報告では、各校で小中一貫教育カリキュラムが編成され学力向上にむけた真摯な取り組みが展開されている。創意工夫した指導で児童生徒が学習や部活、学校行事に興味・関心を持ち積極的に取り組んでいる。生徒指導では各校で小中一貫した指導が取り組まれ、児童生徒との対話を重視して自己肯定感を育み、問題事象を未然に防いでいる。保護者・PTA、地域住民も小中一貫教育に肯定的で、積極的に学校を支援している。「京丹後市教育フォーラム」で、児童生徒の発表や教職員・保護者の意見、学校支援ボランティアの感想等多様な意見発表交流を行い、小中一貫教育について市民の理解と共感を更に深められたい。

3 総合評価(意見等)

京丹後市地域ぐるみで学校再配置計画が進み、小中一貫教育の全市展開によって児童生徒は生き生きと学んでいる。公民館や社会教育団体も再編成され、生涯学習の町づくりが前進した。海の京都・京丹後「ふるさとへの愛着と誇りを持ち 新しい価値を創りだす力を育む教育」によって「将来に夢と希望を持って生き生きと学ぶ」子どもが育ち、「心豊かにたくましく 幸せな未来を切り拓く力を育む教育」で、市民が生涯学び続ける京丹後教育の実現を期待している。

I 教育委員会の活動状況

1 教育委員会の活動状況

1. 教育委員会の開催状況（平成26年4月～平成27年3月）

教育委員会議は、毎月1回「定例会」を、また必要に応じて「臨時会」を開催し、平成26年度は合計21回開催しました。

(1) 教育委員会定例会・・・ 12回

(2) 教育委員会臨時会・・・ 9回

○平成26年度 教育委員会審議案件等一覧

年月日	会議名	議案番号	議 案 件 名
26. 4. 2	4月定例会	報告6号	京丹後市立学校医、学校歯科医、学校薬剤師の委嘱について
		報告7号	京丹後市立学校評議員の委嘱について
		報告8号	京丹後市スクールガード・リーダーの委嘱について
		報告9号	欠番
		報告10号	京丹後市スポーツ推進委員の委嘱について
26. 5. 7	5月定例会	41	京丹後市社会教育委員の委嘱について
		42	京丹後市スポーツ推進審議会委員の委嘱について
		43	京丹後市いじめ防止対策等専門委員会及び京丹後市いじめ問題調査検証委員会に関する条例の制定について
		44	専決処分の承認について（行政財産の用途廃止について）
		45	第11回大宮町体育大会の開催に係る後援について
		報告11号	京丹後市立幼稚園・保育所内科医、歯科医、薬剤師の委嘱について
		報告12号	京丹後市教育振興計画策定委員会委員の退任及び委嘱について
		報告13号	京丹後市小中一貫教育研究推進協議会委員の退任及び委嘱について
26. 5. 28	5月臨時会	46	平成27年度使用京丹後市教科用図書の採択に関する基本方針について
		47	平成27年度使用京丹後市教科用図書に関する調査及び研究について（諮問）
		48	京丹後市学校教科用図書選定委員会の委員の委嘱又は任命について
		49	京丹後市いじめ防止等基本方針について
		50	平成26年度近畿高等学校総合体育大会カヌー競技 第13回近畿高等学校カヌー選手権大会 平成27年度全国高等学校総合体育大会カヌー競技リハーサル大会の開催に係る後援について
26. 6. 6	6月定例会	51	京丹後市スポーツ推進委員の委嘱について
		52	京丹後市子どもの読書活動推進計画第二次推進計画の策定について
		53	ヨーロッパ文化についての講習会の開催に係る後援について
		54	第25回丹後ブロック中学校総合体育大会の開催に係る共催について
		55	2014年「ふくしま・こどもキャンプ」の開催に係る後援について
		報告14号	京丹後市就学指導委員会委員の委嘱について
26. 6. 30	6月臨時会	56	京丹後市教育委員会事務局職員の人事異動について

年月日	会議名	議案番号	議案件名
26. 7. 8	7月定例会	57	丹後展企画委員会設置要綱の制定について
		58	丹後展企画委員会委員の委嘱について
		59	[子育て音楽館]第1回ヴァイオリンのミニコンサート&楽器体験ワークショップの開催に係る後援について
		60	華道嵯峨御流久美浜司所創立50周年記念華展の開催に係る後援について
26. 8. 1	8月定例会	61	京丹後市スポーツ推進委員の委嘱について
		62	京丹後市立幼稚園条例の一部改正について
		63	第24回丹後ブロック中学校駅伝競走大会の開催に係る共催について
		64	紙芝居「豊宇賀能売命になった天女」を見る会の開催に係る後援について
		報告15号	公益財団法人京都府丹後文化事業団の経営状況について
26. 8. 18	8月臨時会	65	平成27年度使用京丹後市立小学校教科用図書の採択について
		66	平成27年度使用京丹後市立中学校教科用図書の採択について
		67	映画会～僕のうしろに道はできる～の開催に係る後援について
		68	京丹後市教育委員会事務局職員の人事異動について
		69	平成26年度全国学力・学習状況調査の調査結果の取扱いについて
26. 9. 5	9月定例会	70	京丹後市いじめ防止対策等専門委員会委員の委嘱について
26. 10. 8	10月定例会	71	京丹後市立幼稚園条例施行規則の一部改正について
		72	京丹後市子育て支援センター事業実施要綱の一部改正について
		73	京丹後市一時預かり事業実施要綱の一部改正について
		74	公共政策フォーラム2014 in 京丹後の開催に係る後援について
		75	映画「海洋天堂」自主上映会の開催に係る後援について
		76	京丹後市就学指導委員会委員の解嘱及び委嘱について
		報告16号	平成26年度全国学力・学習状況調査の結果概要について
26. 10. 16	10月臨時会	77	京丹後市指導主事の解任及び任命について
		78	京丹後市就学指導委員会委員の解嘱及び委嘱について
26. 11. 4	11月定例会	79	平成25年度教育委員会活動の点検及び評価報告書について
		80	丹後展企画委員会委員の委嘱について
		81	京丹後市立学校条例の一部改正について
		82	京丹後市立学校通学区規則の一部改正について
		83	京丹後市立保育所と京丹後市立幼稚園を併設する施設の名称等に関する規則の制定について
		84	おもしろ健康講演会の開催に係る後援について
		報告17号	Xバンドレーダー配備に伴う米軍人・軍属の犯罪・事件事故防止と、子どもの安全・安心確保についての申し入れについて
26. 11. 21	11月臨時会	85	京丹後市子どものための保育給付を受ける資格等の基準を定める条例施行規則の制定について

年月日	会議名	議案番号	議案件名
26. 12. 3	12定例会	86	京丹後市における教科用図書採択地区の変更について
		87	京丹後市立幼稚園条例施行規則の一部改正について
		88	京丹後市教育委員会事務局職員の人事異動について
27. 1. 5	1月定例会	1	京丹後市地域公民館長の辞職の同意について
		2	京丹後市地域公民館長の公募について
		3	Xバンドレーダー配備に伴う米軍人・軍属の犯罪・事件事故防止と、子どもの安全・安心確保についての申し入れに係る回答について
		4	平成26年度「次世代文化継承・発展事業」(地域文化)次世代育成丹後ミュージカル「天女の贈り物」の開催に係る後援について
		5	京都府立大学ACTR(地域貢献型特別研究)調査報告会の開催に係る後援について
		報告	平成26年度丹後地方市町(組合)教育委員会事務局職員研修の報告について
27. 1. 16	1月臨時会	6	京丹後市立幼稚園条例の一部改正について
		7	行政財産の用途廃止について
		8	スポーツ指導者講習会の開催に係る後援について
27. 2. 4	2月定例会	9	京丹後市教育振興計画(案)について
		10	平成27年度「指導の重点」について
		11	平成27年度全国学力・学習状況調査の実施について
		12	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定について
		13	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係規則の整備に関する規則の制定について
		14	京丹後市教育長の勤務時間、休暇等及び職務専念義務の特例に関する条例の制定について
		15	京丹後市教育長の勤務時間、休暇等及び職務専念義務の特例に関する条例施行規則の制定について
		16	京丹後市学校教育施設整備基金条例の制定について
		17	京丹後市社会体育施設条例の一部改正について
		18	京丹後市社会体育施設条例施行規則の一部改正について
		19	行政財産の所管換えについて
20	白隠禅師二百五十年遠諱記念「白隠禅師墨蹟展」の開催に係る後援について		
27. 2. 23	2月臨時会	21	平成27年度京丹後市立学校教職員の管理職人事異動内申について
		22	平成27年度教育委員会関係予算について
		23	京丹後市教育委員会公印規程の一部改正について
		24	京丹後市教育委員会事務局文書取扱規程の一部改正について
		25	京丹後市教育長の権限に属する事務の一部を校長に委任する訓令の一部改正について
		26	京丹後市子育て短期支援事業実施要綱の一部改正について
		27	京丹後市立幼稚園預かり保育事業実施要綱の一部改正について
		28	京丹後市立保育所延長保育事業実施要綱の一部改正について
		29	行政財産の用途廃止について

年月日	会議名	議案番号	議案件名
27.3.4	3月定例会	30	欠番
		31	京丹後市地域公民館長の任命について
		32	丹後教科用図書採択地区協議会規約（案）について
		33	京丹後市立幼稚園保育料徴収条例施行規則の制定について
		34	京丹後市立保育所保育料徴収条例施行規則の制定について
		35	京丹後市私立保育所保育料徴収規則の制定について
		36	行政財産の所管換えについて
		37	第2回京丹後ビーチノルディック大会 in 小天橋の開催に係る後援について
27.3.10	3月臨時会	38	平成27年度京丹後市立学校教職員の一般職人事異動内申について
27.3.18	3月臨時会	39	京丹後市教育委員会事務局職員の人事異動について
		40	京丹後市指導主事の任命について
		41	京丹後市スポーツ推進委員の解嘱及び委嘱について
		42	京丹後市事務決裁規程の一部改正について
		43	京丹後市教育支援センター設置規則の一部改正について
		44	京丹後市学校教科用図書選定委員会規程の廃止について
		45	京丹後市教育委員会事務局組織規則の一部改正について

2. 教育委員会委員の主な活動

月	月日	件名	場所
4月	H26. 4. 2	教育委員会4月定例会	大宮庁舎
	H26. 4. 16	京丹後市立保育所、幼稚園、小・中学校（園）長会議（あいさつ）	大宮庁舎
5月	H26. 5. 7	第1回教育委員管内視察研修（再配置後状況視察 ほか）	高龍小学校 ほか
	H26. 5. 7	教育委員会5月定例会・第5回教育委員協議会（いじめ防止対策について）	大宮庁舎
	H26. 5. 16	丹後地方教育委員連合会定期総会・委員研修会	伊根町
	H26. 5. 19	京都府市町村教育委員会連合会定期総会・委員研修会	京都府総合教育センター
	H26. 5. 28	教育委員会5月臨時会	大宮庁舎
	H26. 5. 30	市議会6月定例会（初日）	市役所
6月	H26. 6. 6	市長と教育委員の懇談（全国学力・学習状況調査について）	市役所
	H26. 6. 6	教育委員会6月定例会	大宮庁舎
	H26. 6. 10	第6回教育委員協議会（全国学力・学習状況調査について）	大宮庁舎
	H26. 6. 12	市議会6月定例会（一般質問）	市役所
	H26. 6. 13	市議会6月定例会（一般質問）	市役所
	H26. 6. 16	市議会6月定例会（一般質問）	市役所
	H26. 6. 26	市議会6月定例会（最終日）	市役所
7月	H26. 6. 30	教育委員会6月臨時会	大宮庁舎
	H26. 7. 8	第2回教育委員管内視察研修（放課後児童クラブ視察）	弥栄放課後児童クラブ・長岡放課後児童クラブ
8月	H26. 7. 8	教育委員会7月定例会	大宮庁舎
	H26. 8. 1	教育委員学習会（教科用図書について）	大宮庁舎
	H26. 8. 1	教育委員会8月定例会・第7回教育委員協議会（子ども子育て三法改正による条例等の制定に関して ほか）	大宮庁舎
	H26. 8. 18	第49回人権教育研究京丹後市大会	丹後文化会館
9月	H26. 8. 18	教育委員会8月臨時会	大宮庁舎
	H26. 9. 2	市議会9月定例会（初日）	市役所
	H26. 9. 3	市議会9月定例会（決算審査特別委員会）	市役所
	H26. 9. 5	教育委員会9月定例会・第8回教育委員協議会（京丹後市教育振興計画案について ほか）	大宮庁舎
	H26. 9. 12	市議会9月定例会（一般質問）	市役所
	H26. 9. 16	市議会9月定例会（一般質問）	市役所
	H26. 9. 17	市議会9月定例会（一般質問）	市役所
10月	H26. 9. 25	市議会9月定例会（決算審査特別委員会）	市役所
	H26. 10. 1	市議会9月定例会（最終日）	市役所
	H26. 10. 8	市長と教育委員の懇談（本市の教育課題について）	市役所
	H26. 10. 8	教育委員会10月定例会	大宮庁舎
	H26. 10. 16	教育委員会10月臨時会	大宮庁舎
	H26. 10. 20	京都府内市町（組合）教育委員研修会	京都テルサ
	H26. 10. 20	近畿市町村教育委員研修大会	京都テルサ
11月	H26. 10. 21	教育委員管外視察研修	精華町立精華中学校 奈良市立平城西中学校
	H26. 11. 4	第3回教育委員管内視察研修（再配置後状況視察 ほか）	弥栄小学校 ほか
	H26. 11. 4	教育委員会11月定例会・第9回教育委員協議会（保育所保育事業補助金交付要綱の一部改正について）	大宮庁舎
	H26. 11. 17	丹後地方教育委員連合会教育委員等視察研修	小浜市
	H26. 11. 17	市議会11月臨時会	市役所
	H26. 11. 21	教育委員会11月臨時会	市役所
12月	H26. 11. 27	市議会12月定例会（初日）	市役所
	H26. 12. 3	教育委員会12月定例会	大宮庁舎
	H26. 12. 9	市議会12月定例会（一般質問）	市役所
	H26. 12. 10	市議会12月定例会（一般質問）	市役所
	H26. 12. 11	市議会12月定例会（一般質問）	市役所
	H26. 12. 13	京丹後市教育フォーラム	アグリセンター大宮
	H26. 12. 22	丹後地方市町（組合）教育委員会事務局職員研修会	宮津市総合庁舎
1月	H26. 12. 25	市議会12月定例会（最終日）	市役所
	H27. 1. 5	教育委員会1月定例会	大宮庁舎
	H27. 1. 16	教育委員会1月臨時会・第1回教育委員協議会（保育所保育料、幼稚園保育料徴収条例の制定について ほか）	大宮庁舎

月	月 日	件 名	場 所
2 月	H27. 2. 4	教育委員会 2 月定例会	大宮庁舎
	H27. 2. 5	市議会 2 月臨時会	市役所
	H27. 2. 23	教育委員会 2 月臨時会	大宮庁舎
	H27. 2. 25	市議会 3 月定例会（初日）	市役所
	H27. 2. 26	市議会 3 月定例会（予算決算常任委員会）	市役所
3 月	H27. 3. 4	教育委員会 3 月定例会・第 2 回教育委員協議会（放課後児童健全育成事業実施条例施行規則の一部改正について）	大宮庁舎
	H27. 3. 9	市議会 3 月定例会（一般質問）	市役所
	H27. 3. 10	市議会 3 月定例会（一般質問）	市役所
	H27. 3. 10	教育委員会 3 月臨時会	大宮庁舎
	H27. 3. 11	市議会 3 月定例会（一般質問）	市役所
	H27. 3. 18	教育委員会 3 月臨時会	大宮庁舎
	H26. 3. 30	市議会 3 月定例会（最終日）	市役所